

令和4年1月21日

保護者の皆様へ

小樽市立桜小学校長

水 口 正 紀

学校と家庭が一体となって創る桜小教育

～桜小学校保護者アンケート結果について～

新春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、2学期に実施しました「保護者アンケート」にご協力いただきまして、ありがとうございました。保護者の皆様からいただいたアンケートをもとに、本校のがんばりや課題について考察しました。今回の結果をこれからの学校生活の改善に生かしていきたいと思えます。

笑顔あふれる桜小学校となるように、子どもたちをよりよく育てるパートナーとして学校と家庭の連携・協働をよりいっそう強めて、桜小教育を進めていきたいと思えます。

今後とも忌憚のないご意見をいただき、学校運営の改善に努めてまいりますので、ご支援・ご協力をお願い致します。

【回答人数】

●保護者アンケート回答数 155 / 240 家庭



感謝と新たな決意！

- およそ2年間におよぶコロナ生活の中、子ども達の安心・安全を第一に学校運営を進めて参りました。マスクの着用や検温など毎日の健康観察シートへの記入、学校行事の度重なる変更への対応など、保護者の皆様の多大なご理解とご協力で、改めて感謝申し上げます。
- 「ありがとうございます」「これからもよろしくお願ひします」といった心温まる言葉をたくさんいただきました。大変心強く、いっそう気を引き締め、信頼される学級学校づくりを進めてまいります。ありがとうございました。

校 長 水 口 正 紀

令和3年度 後期 保護者アンケート 集計結果

4点満点で評価しています。

回収率64.6% (今年7月69.6%)

評価項目	A	B	C	D	4点満点
	今年度結果	今年度結果	今年度結果	今年度結果	今年度結果
	今年7月	今年7月	今年7月	今年7月	今年7月
◆情報提供について 1 学校は、学校便り、学級通信、保健便り、懇談会などを通して、学校の様子を知らせている。	70.1%	28.6%	1.3%	0.0%	3.69
	72.3%	26.5%	1.2%	0.0%	3.71
◆学力の育成について 2 学校は、授業の工夫、個に応じた指導、ICT機器の活用等により、学力の育成に努めている。	53.0%	42.4%	4.0%	0.7%	3.48
	49.1%	47.9%	3.0%	0.0%	3.46
◆豊かな心の育成について 3 学校は、一人一人を大切に、互いに認め合い、思いやりの心が育つように努めている。	51.3%	48.7%	0.0%	0.0%	3.51
	56.1%	42.1%	1.8%	0.0%	3.54
◆健やかな体の育成について 4 学校は、健やかな体の育成のために、体育を中心とした体力向上の取組や食育などの健康教育の推進に努めている。	46.1%	45.4%	8.6%	0.0%	3.38
	45.6%	50.3%	4.1%	0.0%	3.41
◆家庭・地域との連携について 5 学校は、家庭や地域と連携し、子どもの安全を守るために努力している。	51.6%	45.1%	2.0%	1.3%	3.47
	57.3%	40.2%	1.8%	0.6%	3.54
◆挨拶について 6 お子さんは、「あいさつ」をきちんとしている。	49.7%	41.9%	8.4%	0.0%	3.41
	42.7%	51.2%	6.1%	0.0%	3.37
◆自己肯定感(自己有用感)について 7 お子さんは、自分にはよいところがある、自分が大切にされ、必要とされていると感じる心、誰かの役に立ちたいと考える心などが育っている。	48.4%	49.7%	2.0%	0.0%	3.46
	43.6%	53.3%	3.0%	0.0%	3.41
◆基本的な生活習慣について 8 お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯などの基本的な生活習慣は身に付いている。	43.9%	48.4%	6.5%	1.3%	3.35
	48.5%	40.6%	10.3%	0.6%	3.37
◆家庭での学習習慣について 9 お子さんは、家庭での学習習慣(音読も含む)が身に付いている。	38.1%	50.3%	11.6%	0.0%	3.26
	35.2%	50.9%	12.1%	1.8%	3.19
◆家庭と学校の連携 10 ご家庭では、家庭学習の定着や思いやりの心の育成、生活習慣の確立などについて、学校と連携(学校だよりや学級通信などを参考に)しながら、話題にしたり、励ましの声かけなどをしたりしている。	49.3%	44.7%	5.9%	0.0%	3.35
	39.4%	56.4%	4.2%	0.0%	3.35

考 察

回収率は64.6%でした。近年は70%程度で推移しておりましたので、5%のダウンとなってしまいました。今後は、回収率向上にも努めて参りたいと考えております。調査結果につきましては、全ての項目で前期(7月)の評価と同等の結果となりました。情報提供の3.69ポイントを筆頭に、総じて高評価をいただいておりますが、慢心することなく、全ての項目についてC・D評価を減らし、B評価はA評価になるよう取り組んで参りたいと考えております。また、以下に記載しました「学校では」「ご家庭へのお願い」をお読みいただき、ご協力をいただければと願っております。

情報提供について

◆学校では

いいことも悪いことも、学校と保護者の皆様で共有することが、子どもたちを健やかに育む第一歩だと考えています。お便りはもとより、安心メールやHPのより一層の充実に努めて参ります。

◇ご家庭へのお願い

お忙しい中だとは思いますが、お便りやHPに目を通して頂き、お子さんの学校や学級での様子について共有していただければと思います。気になることがありましたら、お気軽にご相談下さい。

学力の育成について

◆学校では

自ら考え学習する態度や習慣を身につけさせるために、「主体的・対話的で深い学び」への授業改善や家庭学習の充実、クロームブックを活用した授業実践を進めます。

◇ご家庭へのお願い

子ども達が主体的に学習に取り組む姿勢を育むために、宿題や家庭学習への声かけやチェックをお願いします。



豊かな心の育成について

◆学校では

学校行事や日常生活での子ども同士の関わり合いを通して、「協力することの大切さ」などを実感させ「互いに認め合う態度」や「相手を思いやる心」が育つように努めて参ります。

◇ご家庭へのお願い

ご家庭でのお子さんの声やつぶやきに、是非耳を傾けてあげて下さい。小さな変化やSOSのサインを見逃さないように、心配なことがありましたら、いつでも学校にご相談下さい。

健やかな体の育成について

◆学校では

冬期間は体を動かす機会が減りますので、ソーシャルディスタンスに配慮しながらスキー学習や体育の授業を大切にしていきます。また、校内での生活リズムが崩れないように配慮していきます。

◇ご家庭へのお願い

冬場は、ご家庭でも体を動かす機会が減っていることと思います。安全にも十分配慮しながら、雪かきのお手伝いを行うなど、日常の中で体を動かす機会を作ってあげてほしいと思います。

家庭・地域との連携について

◆学校では

コロナへの対応や交通安全・冬型事故防止のための命を守る指導、不審者情報のご家庭へのメール送信やHPを利用した発信など、子どもたちが安心・安全に過ごせるようにより一層努力して参ります。

◇ご家庭へのお願い

事故やケガは、「あのとき、気をつけていたら」という、ちょっとした配慮で防げることが多くあります。雪山や軒下の落雪などの冬型事故防止のために、日常的にご指導や声かけをお願いします。

挨拶について

◆学校では

今年度の重点の一つとして、「気持ちのいい挨拶をしよう。」と子ども達に呼びかけてきました。自分から進んで挨拶をする子が増えています。挨拶の音が響き合う学校になってきています。

◇ご家庭へのお願い

子どもたちが気持ちのいい挨拶ができるようになるためには、周りの環境も大切です。学校でもご家庭でも私たち大人が率先して気持ちのいい挨拶をしていきましょう。子どもは大人の姿を見て育ちます。

自己肯定感について

◆学校では

大人も子どもも、自分が大切にされ、必要とされていると感じたときに、がんばろうという力がわいてきます。一人一人が大切にされ、心安らぐ学級・学校経営に努めて参ります。

◇ご家庭へのお願い

自分の居場所があるというのが、子どもたちに一番の安心感を与えます。学校でもご家庭でも、がんばったときにはうんと褒めて、「あなたが必要なんだよ」というメッセージを届けていきましょう。

基本的な生活習慣について

◆学校では

生活習慣スケジュール表の取組やスマホの使い方など、子どもたちの生活習慣に関わる色々な資料を配付・啓蒙させて頂いております。今後も、ご家庭と連携しながら進めて参ります。

◇ご家庭へのお願い

オンラインゲームやスマホ利用の低年齢化に伴い、ご家庭でのネット利用に関するルール作りがとても重要です。ネットトラブルに巻き込まれないようお子さんの利用状況の把握と指導をお願いします。

家庭での学習習慣について

◆学校では

予測不可能なこれからの時代は、自ら考え学びに向かう力の育成が大切になってきます。学校では宿題と併せ、子どもたちが自ら考え学びを進める「自学学習ノート」にも積極的に取り組んでいます。

◇ご家庭へのお願い

家庭での学習習慣のポイントが年々向上しています。ご協力に感謝致します。引き続き、勉強する場所や時間などお子さんと相談しながら、自ら進んで学習を行えるような環境づくりをお願いします。

家庭と学校の連携について

◆学校では

「こんな子どもに育てたい！」学校とご家庭がその思いを共有して、実践することが何より大切です。学校からの発信だけではなく、ご家庭からの声にも耳を傾け双方向で送受信できるように努めます。

◇ご家庭へのお願い

学校だよりや学級通信、HPなどを参考にしながら、学校・学級の様子や友だちのこと、学習のことについて、ぜひご家庭でも積極的に話題にして頂きたいと思っております。はじめの一步は会話からです。

〈家庭からの応援メッセージ〉 抜粋

- いつもありがとうございます。先生達のおかげで毎日楽しく学校に通えているのを嬉しく思います。学習発表会もとても良かったです。
- クロームブックを利用した学習に取り組んで頂き、ありがとうございます。これからも子ども達が興味を持って自ら学習していけたら良いと思います。
- 教員人数がギリギリの中、図書先生が来ることになり図書室が楽しいと子ども達から話を聞きます。学習環境、学習意欲にいつも配慮下さる事に感謝します。
- コロナ禍の中、運動会等のイベント行事、バス旅行、発表会、2月には雪あかり！手探り状態、その時その時の状況を見ながら、できるだけことをして頂いている感じで、感謝しております。
- 子どもの成長に対し、気配りをして頂けている事、個々に向き合ってもらえている事を実感し、先生方にとっても感謝しております。これからも個々の成長、年齢に見合った教育をお願いします。
- 学校全体で子ども達を見守っている印象です。ありがとうございます。
- 校長先生、いつも朝、横断歩道の所で見守りして下さいありがとうございます。先生方、おむかえ時会うと声をかけて下さりありがとうございます。兄弟の名前もおぼえて下さり、嬉しいです。
- ★コロナへの対応につきましては、本当に多くの皆様から感謝の言葉と応援メッセージを頂きました。



〈家庭からの意見・要望〉 抜粋

- 雪道の安全確保など、保護者の方にもできる範囲でパトロール等をお願いしてもいいと思います。
- 来年こそは、運動会も学習発表会も例年通り開催できることを願っています。
- 子ども達の見えないストレス等に対応してもらえるとありがたいです。
- 朝の玄関の開く時間が限定されていて、密だと思うのですが対策等はないのでしょうか。
- 放課後の寺子屋の時間がなくなってしまったのは残念です。
- 友達の家へ泊まることを禁止にして欲しい。
- コロナで休校になった場合のリモート対応が遅れていると思いました。
- 現代社会において、学校に何を望むべきなのか、一人の親として悩めるところです。家庭、学校がどうあるべきなのか。校則については、学校はどのように考えていますか？

学校に寄せられましたたくさんの応援メッセージに対して、心からお礼を申し上げますとともに、学校へのご意見や要望を真摯に受け止め、子どもたち一人一人の健全育成を目指して、更なる教育活動の充実に努めて参ります。